

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市空家等改修支援補助金	開始 年 度	令和3年度
団 体 名	西部地区および中央部地区の空家住宅を購入・改修し、10年以上居住を誓約できる市外からの移住者	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則 函館市空家等改修支援補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市外から補助対象地区（西部・中央部地区）に移住を希望する者が、同地区内にある概ね1年以上居住その他の実績が無い空家住宅を自ら購入し、改修して居住する場合に、改修工事に要する費用の一部を補助する。 補助対象額の2/3以内で上限200万円
目 的	（目 的） 長期間利用実績のない空家住宅を移住者が購入し、その改修に要する費用の一部を補助することにより、空家の解消を促進し地域住民の生活環境の保全を図る。
・ 効果	（効 果） 増加する空家を既存住宅ストックとして有効的に活用し、移住者の受け皿とすることにより、街なか居住への誘導と地域コミュニティの維持・活性化を促進する。

○補助事業の収支状況

※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己負担額	計
		市	その他					
収	R4 (決算)	4,000 [4,000]					4,222 [3,875]	8,222 [7,875]
	R5 (決算)							0 □
	R6 (決算)	4,000 [4,000]					11,663 [11,663]	15,663 [15,663]
	R7 (決算)	4,000 [4,000]					10,331 [10,331]	14,331 [14,331]
入	R8 (予算)	4,000 [4,000]					2,666 [2,666]	6,666 [6,666]
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R4 (決算)			8,222 [7,875]				8,222 [7,875]
	R5 (決算)							0 □
出	R6 (決算)			15,663 [15,663]				15,663 [15,663]
	R7 (決算)			14,331 [14,331]				14,331 [14,331]
	R8 (予算)			6,666 [6,666]				6,666 [6,666]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市空家等改修支援補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか)	☒	☐	増加する空家は深刻な社会問題となっているなか、空家の利活用は、生活環境に悪影響を与える不良住宅化を未然に防止するとともに、市外からの移住者の受皿となることから、人口の流入による地域活性化に貢献するものである。
	①広く市民生活の向上に貢献する事業	☒	☐	
	②市民ニーズが高い事業	☒	☐	
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	市外からの移住者に対して、安価な空家の利活用を促すことで、空家の解消を図るとともに、本市の街なかへの居住を誘導する必要がある。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	自主性の視点は当該補助事業に合致しない。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	既存の居住ストックである空家を活用した街なかへ居住への誘導と地域コミュニティの維持・活性化を促進するうえで有効的である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	移住者に対して、空家の改修を促すことで、年々増加傾向にある空家を解消する必要があることから、補助対象経費のうち国1/3、市1/3を補助する。今後も同様としたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市空家等改修支援補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
「第2期函館市空家等対策計画」において, 令和7年度までに110棟の空家の活用(除却した跡地の活用を含む)を目標としている。	
(達成状況)	
計画期間(令和3年度～令和7年度)の空家等の活用状況	
・令和3年度～令和5年度 111棟	補助実績 R4年度 2件 R6年度 2件 R7年度 2件



(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☒ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	R3年度およびR5年度は補助金の実績はなかったが, R4年度, R6年度, R7年度は予算同額で補助金を執行している。

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続 ☐ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) 本事業は, 本市に移住する方が空家を購入し, その空家を改修する工事費の一部を補助するものであり, 補助制度の利用に対する相談件数が一定数あることから, 現行のまま補助を継続する。 (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 10 年度		令和 10 年度